

2011年度

科目名	権利擁護と成年後見論			
担当教員	前川 敦			
配当	教福3		コード	80087
開期	集中後期	講時	集中0限	単位数 2
授業テーマ	対人援助職に必要な権利擁護の概念をつかみ、利用者の支援にあたって必要な法制度の知識を身につける			
目的と概要	社会福祉士の社会的役割として、権利擁護実践は中心的なものとして位置付けられている。権利擁護はどの分野においても、どのような役割においても常に意識しておかねばならない。そのことをふまえて、成年後見制度をはじめとした権利擁護のための諸制度について学び、その適用事例について理解を深める。			
成績評価法	主として試験結果から判断するが、出席や授業態度などを評価に加味して判断する。			
テキスト	MINERVA社会福祉士養成テキストブック⑩権利擁護と成年後見／新井誠他編／ミネルヴァ書房			
参考書	社会福祉士の権利擁護実践／日本社会福祉士会編／中央法規 生活を支える権利擁護／大阪後見支援センター編／中央法規			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	できる限りテキストに掲載された実際の事例を用いながら、授業を進めていきます。制度を理解することはもちろんですが、対人援助の専門職としての価値・倫理を身につけることもこの講義の大事な目的ですので、そのつもりで参加してください。			
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1) 序 社会福祉士の実践とは 2) 序 権利擁護とソーシャルワーク 3) 権利擁護相談のニーズ 4) 権利擁護実践の概要 5) 成年後見制度の概要 6) 成年後見制度の申立て 7) 成年後見人の役割と成年後見制度利用支援事業 8) 日常生活自立支援事業など、その他の制度 9) 権利擁護支援の局面と法制度の活用（契約と財産侵害、多重債務、遺産相続など） 10) 権利擁護支援の局面と法制度の活用（虐待に対する対応） 11) 権利擁護活動の実際 12) 権利擁護活動の実際 13) 権利擁護活動の実際 14) 権利擁護活動の実際 15) まとめと総括 				